

前回 8月25日の例会記録

出席の状況

会員数 56名 (内出席免除 3名) 出席者数 45名 欠席者数 11名
 出席率 81.82% 前々回訂正 79.63%
 欠席者 位田, 加戸, 小橋, 小松原, 永見, 西岡, 大賀, 岡村, 坪井, 植田, (平野)

ゲスト

2008～2009年度

県南18RC幹事 ^{みき} 幹の会

岡山RC 田中 信行 様
 岡山南RC 小川 健 様
 岡山西RC 瀬戸 昭次 様
 岡山東RC 藤井 一也 様
 岡山北RC 青木 俊也 様
 岡山西南RC 楠本 俊憲 様
 岡山備南RC 犬飼 泰介 様
 岡山中央RC 浦田 永二 様



▲岡山南RC
小川 健 様



岡山後楽園RC 由良 眞言 様 岡山旭川RC 佐藤 洋子 様
 岡山丸の内RC 半田 雄三 様 赤磐RC 幡山 寛念 様

S.A.A.



幹の会(小松会長の同期幹事12名様):
 小松さん、会長就任おめでとうございます。同期幹事、幹の会でお祝いに参りました。少しはやせているかと思っただけです。少しは貫禄充分で安心しました。どうかあと10か月このまま突っ走って下さい。



児島会員

先日は、誕生日に立派な花束を送っていただき、ありがとうございました。花束をプレゼントされると誰でも笑顔になりますね。めったに笑わない私でも笑顔になります。



小松会員

幹事同期(幹の会)の皆様、おいそがしい中有難うございます。



平松会員

昨年の岡山在住外国人無料健康診断・健康相談に際しましては、佐藤洋子会長をはじめ、旭川ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。



丹治会員

夏休みを利用してハンガリー・オーストリア・チェコの3国を旅行しました。ドナウ川沿いの街はどこも美しく、魅力的でした。ウィーンではモーツァルト、プラハではスメタナを楽しみました。

以上、5件 27,000円(累計 256,000円)

会長報告

先週、広島市の豪雨による土石流で多くの方が亡くなり、行方不明者も多数出て、大変な惨事になり、今はご冥福を祈る事しかできません。聞く話によりますと、プライバシーや個人情報の保護の為なのか分かりませんが、とにかく近所の方の名前も家族構成もあまり知らなくて、町内の責任者の方に尋ねてもあまりよく分からないとの事で、不明者の人数がなかなか分からなかったようです。警戒区域の指定を受けると資産価値が下がるということからか、ある町内では、警戒区域の指定も受けず、行政の指導があっても受け付けなかったようで、不明者の人数がなかなか分からなかったのも、仕方がないことなのかもしれません。ある程度の個人情報は、町内なり行政なり警察なりが、把握していた方がいいのではないかと私は思っております。DMや案内状が知らない会社から来ても、捨てればいい事で、私は印刷会社を営んでおりますので、そういう書類は増えた方がいいなと思っております。

会長 小松 忠 男



幹事報告

幹事 嶋 井 利 典

- ①9月のロータリーレートは1ドル102円です。
- ②インターアクト地区大会につきまして、お礼状と写真が届いておりますので回覧いたします。
- ③10月5日の地区大会への移動につきまして、前泊先については10月4日(土)午後出発にて津和野泊を予定しております。次週詳しい資料を配布いたします。



例会プログラム

クラブフォーラム

クラブ奉仕委員会

副会長・クラブ奉仕委員長 岡本和夫



地区の最重要目標は、各クラブ3%の純増という会員増強であり、小松会長も前年度に引き続いて増強に力を入れ、「70名」という目標を掲げている。また、地区の重点目標は出席率年平均90%以上という非常に高い数値である。昨今当クラブのホームクラブ出席率は70%前半と低迷している。会員増強と出席率は連動するところがあり、例会出席可能な会員が入会することが大事であり、併せて例会内容の充実を図っていくことが大切である。クラブを円滑に機能させるため、何よりも全会員の理解と参加が必要である。

1. クラブの会合に出席

- (1) 年度の各半期間において、メイクアップを含むクラブ例会出席率が少なくとも50%に達していなければならない。
- (2) 年度の各半期間に開かれた本クラブの例会総数のうち少なくとも30%に出席しなければならない。
- (3) 会員がある例会に出席したものとみなされるには、その例会時間の少なくとも60%に出席しなければならない。
- (4) メイクアップは欠席の前後2週間以内に別のRCの例会か他の所定の会合に出席する。

2. クラブの親睦に加わる

5. 理事を務める

3. クラブのプログラムに参加する

6. 会費を払う

4. 委員になる

7. クラブ外の活動においてクラブを代表すること:IM、地区大会、地区協議会、国際大会に参加。他のRCで講演

会員増強委員会

会員増強委員長 相原利行



◎入会候補者紹介のお願い

いつも、会員増強にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、今年度の会員増強委員会の目標といたしまして、会員数70名を挙げさせていただきました。具体的な活動といたしましては、会員の皆さまに、入会を勧誘中または勧誘を検討中の人材を2名以上ご提出いただき、勧誘候補者のリストを作成し、そのリストを会員の皆さまに配布したうえで、勧誘候補者と面識のある会員を掘り起こし、勧誘の強化に繋げるというものです。

つきましては、入会を勧誘中または勧誘を検討中の方2名以上を、以下の要項にてご提出いただきますようお願いいたします。

1. ご提出締切 9月29日(月)
2. ご提出先 事務局 FAX(086)224-4288

プログラム委員会

プログラム委員長 原全伸



クラブ満足度、出席率の向上に寄与すべく、例会がより楽しくなるようなプログラム編成に努めることを運営方針に掲げ、以下の活動計画に沿った形で企画していきます。

- ・原則として毎月ロータリーの特別月間に因んだテーマでクラブフォーラムを開催
- ・ロータリーの奉仕活動の参考となるようなテーマの選定
- ・外部卓話は、会員の見識を広める話ばかりでなく先日の珈琲の蒞蓄のような雑学的な楽しい話を織り交ぜる
- ・内部卓話は、会員相互の理解と親睦を深めるためにできるだけ多くの会員に発表の機会を設ける

なお、プログラム編成は毎月3カ月先までを1クールとして予定を組んでまいります。卓話者についてはプログラム委員の人脈だけでは心もとないで、7月に「卓話についてのお願い」を配布したように広く会員の皆様にもご紹介をいただければ幸いです。特に締め切りはございません。内部卓話は自薦他薦を問いません。次週お願いをした木本先生のように話を久々に聞きたいとか、外部卓話者のご紹介、あるいはこんなテーマについて聞きたいといったリクエストでも結構です。随時受け付けておりますのでお気軽にお申し付けください。

親睦活動委員会

親睦活動委員長 入江直人



【運営方針】

- ・奉仕の理想と協調、協和を重んじ、活動を通して会員相互の理解と友情を深めるよう努める。
- ・家族の皆様を交え親睦を図り、明るく楽しく、人と人の和とふれあいを大切にした活動ができるよう取り組んでいく。
- ・年間行事の家族会や親睦会は会長、幹事の協力を仰ぎ、また友好クラブ、家族委員会と共に企画、実施し、会員家族の皆様からも世代を超えた友情が培われ、クラブの伝統を継承する活動に努める。

【活動計画】

1. 会員相互の親睦と理解を得る

- ・会員及び配偶者の誕生日、結婚記念日のお祝いを毎月第一例会で報告する。
- ・会員の誕生日、結婚記念日に、自宅または勤務先にお花を贈る。
- ・旧ひな壇慰労会、新年互例会は、例会にふさわしい雰囲気のもとで行う。
- ・親睦旅行の(日程、場所等友好クラブ委員会と連携した)企画・実施。
- ・慶弔規程の実施 通夜・葬儀での受付。

2. 家族相互の親睦

- ・配偶者同伴例会 前年に比べ、夜間例会を1回増やし(花見夜間例会)計3回とし、より親睦をはかる。
- ・家族同伴例会 クリスマス家族例会は昨年も150人弱の参加があり、昨年以上の参加者と、さらに会員家族の皆様から喜んで頂ける企画を実施する。

3.例会場での親睦

- ・ビジターへは受付時の歓迎、例会時の歓迎を積極的に行う。
- ・例会来場時は会員の出迎えを親睦委員会全体で行う。

会報部会

会報部会委員長 河田 肇

日頃より皆様には、週報作成にご協力をいただき、御礼を申し上げます。

会報部会の本年度の運営方針は、分かりやすく、速やかに、間違いが無く、共感を得られる表現で、クラブ内外に発信することです。週報の記事構成は、ほぼパターン化されており、なかなか工夫の余地がありませんが、できるだけわかりやすい表現を心がけております。また、クラブの行事には可能な限り出席して写真を撮り、ビジュアル面での充実を図ります。皆様からの原稿も、一部、読みやすいように句読点や言い回しを修正させていただいております。この場をお借りして、何卒ご容赦をいただきますよう、お願いを申し上げます。あわせて、週報を次の例会で配布できるよう、原稿の督促をさせていただく場合もございます。その際は、ぜひとも、特段のご配慮をいただきますよう、お願いいたします。また、皆様からの寄稿をお待ちしております。なお、紙面の関係上、お寄せいただいてもすぐに掲載できない場合や、一度に全てを掲載できず、連載とさせていただく場合もあることを、あらかじめお断り申し上げます。

ここまでいろいろと、一方的にお願いやエクスキューズを並べてまいりましたが、これからもよりよい週報作りを心がけてまいりますので、今後とも皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いたします。



クラブ情報

山登り同好会「富士登山記」

平成26年8月14日～17日

登山組：堀川辰也、入江直人・亮、川本洋・香花、児島正典、楊圩、岡本和夫・修吾

観光組：岡村秀男、高橋峯男、川西熊雄

(前号からの続き)

一方、観光組は富士五湖めぐりから青木ヶ原の樹海のなかをドライブし、風穴群そして白糸の滝を観光、二日は甲府の武田神社から北部の昇仙峡に寄り、甲府盆地から富士山を眺めた。三日日は身延山に詣で先祖の供養に励んだ人もいた。そのあと富士宮を経由し、三島から南下して修善寺温泉「桂川」で登山組と合流した。懇親の宴では、疲れた表情を見せない子供たちを中心にして、登山談議や子供たちの教育問題など話は尽きず、おいしいお酒と相まって楽しい時間を過ごした。修善寺温泉は桂川の傍らに位置しており、空海が創建したと伝えられている寺が地名となった。また明治43年8月、漱石は胃潰瘍のためこの地に転地療養した。「修善寺の大患」として知られている。

最終日は、だるま山の展望台からわずかに山頂部のみを出している富士山、田子の浦から沼津そして静浦・江浦・内浦へと続く海岸線、また手前の葛城山からはるか遠くの箱根連山を望見した。続いて浄蓮の滝とわさび田を観光し、三島に戻った。おりしも三島は三嶋大社を中心に夏祭りの真最中で、太鼓、笛、鉦の奏でる音を楽しんだ。伊豆国一宮である三嶋大社は、頼朝が伊豆山神社、箱根権現と合わせて三社詣でをしたといわれている。歌川広重の浮世絵「東海道五十三次・三島朝霧」に三嶋大社の鳥居が描かれている。三島は箱根宿と沼津宿の間に位置する東海道11番目の宿である。明治22年東海道線が開通したが、当時は現在の御殿場線経由で、隣の沼津を通ったため三島の町は壊れた。しかし、昭和9年の丹那トンネルの開通、昭和44年の新幹線三島駅の開設で再び活況を呈するようになった。680年、伊豆国が珠流河(駿河)国から分置されたが、その国境は東海道線三島駅の西を流れる境川である。「富士の白雪、三島に注ぐ」と謡われたように、いたるところに富士山の湧水が流れ出している。柿田川の湧水は有名である。

忙中閑あり、日常を離れて自然の中に身を置いた4日間は、改めて仕事について考える機会となった。(了)



9月お祝い行事

例会情報

本日のメニュー (9月1日)

マグロと山芋とキヌアのサラダ仕立て モロヘイヤと木ノ子スープ 豚肉のスパイス焼き スペアリブ風
デザート コーヒー パンとバター

次回のメニュー (9月8日(ヘルシー和食))

揚物 おかやま黒豚ロールカツ(刻み野菜(大根 人参 水菜 貝割れ 姫赤茄子 檸檬 パセリ))
別猪口 割ソース 小鉢 ちぢみ蒟蒻 水菜胡麻和え 人参
御飯(岡山県産こしひかり) 赤出汁(浅蛸 刻み葱 若芽 粉山椒) 香物(三種)